

尚絅子育て研究センター 第16回公開シンポジウム

◎ 講演 〈9:30～11:00〉 管理棟5階 大講義室

『子どもの発達と遊び～子どもにとってそもそも遊びとは何か?～』

講師：加用文男氏(京都教育大学幼児教育科 教授)

今回の熊本地震で避難所暮らしを経験した子どもたちは多数いらっしゃったと思います。大変な日々の中で、真っ先に影響を受けたのは子どもたちでした。しかし同時に、避難者の笑顔や癒しのきっかけになったのも子どもたちです。子どもたちのからだの中には、本来そういった素朴なユーモアとパワーが潜んでいるように思えてなりません。その源は、加用先生も研究されている「笑い」や「遊び」の中に隠されているのではないのでしょうか。笑い合っただけで安心できる仲間がいて、さらに面白い遊びが一杯できたら、子どもにとってこんなに幸せなことはありません。今、こんな時だからこそ、「子どもにとっての遊びとは何か」について、みなさんと一緒に考えていきたいですね。



加用文男(かよう ふみお)

〈プロフィール〉

1951年 高知県生まれ
東京教育大学心理学科卒
東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学
現在 京都教育大学幼児教育科教授(発達心理学)

〈主な著書〉

- 『子ども心と秋の空』(ひとなる書房)
- 『忍者に出会った子どもたち』(ミネルヴァ書房)
- 『遊びの発達心理学』(共著 萌文社)
- 『遊びという謎』(共著 ミネルヴァ書房)
- 『光る泥だんご』(ひとなる書房)
- 『子どもの心的世界の揺らぎと発達』(共著 ミネルヴァ書房)
- 『遊びの保育の必須アイテム』(ひとなる書房)
- 『子どもの「お馬鹿行動」研究序説』(かもがわ出版)



◎ シンポジウム 〈11:10～12:30〉 管理棟5階 大講義室

『保育に素朴さとパワーを！ ユーモアといたずら心に満ちた 新鮮な感覚を！』

シンポジスト：釜崎美奈氏(坪井幼稚園 主任)
平田洋介氏(山都町立浜町保育園 主任)
加用文男氏(京都教育大学 教授)
コーディネーター：増淵千保美(尚絅子育て研究センター)

子どもたちの笑顔をもっともっと引き出せるように、保育の中にも「ユーモアといたずら心に満ちた新鮮な感覚」を取り入れられたらと日々願うところです。今回のシンポジウムでは、加用文男先生の講演に引き続き、幼稚園、保育園で実践されているお二人をシンポジストとしてお招きし、日頃の暮らしや遊び、保育の中で大切にしていることをご紹介します。子どもは純粋に面白いから遊ぶ。そして、遊びながら自然に何かを学んでいる。そんな子どもたちの世界を私たち大人(保育者)は、どれだけ豊かに膨らませることができるのだろうか。みなさんからのご意見をもとに、このシンポジウムで深めていけたらと考えております。

尚絅大学短期大学部公開講座 第31回サマーセミナー

◎ 講座 〈13:30～15:30〉

1 災害時・後に保育現場でできることとは？

① 保育の現場で (2号館1階 第1講義室) …………… 講師 柴田賢一、古閑榮美氏(滝尾幼稚園)

熊本を襲った未曾有の震災からはや3か月が過ぎました。多くの方が被害にあわれた中で、保育施設もその例外ではありません。地域の子育ての拠点として保育施設があるなかで、災害時に保育施設に求められる役割とは、また被災した保育施設が立ち直るために、必要なことは、これらについて共に考えていきたいです。

② 子どもの心のケアについて (2号館2階 第5講義室) …………… 講師 緒方宏明、小川内哲生

今回の熊本地震では、多くの子どもたちが地震や余震を経験しました。また地震の被害等について見たり聞いたりすることで、子どもたちも心配したり不安を感じたりしています。その時に保育者や保護者がどのように子どもと関わったら良いのか、基本的なポイントについて確認するとともに、子どもの支援について一緒に考えていきましょう。

2 子どもの表現活動を豊かに

① パステルの楽しみ方 (1号館1階 図工室) …………… 講師 坂本 健

パステルとは顔料(色の粉)を粉末状にし、粘着剤で固めた画材で、指やスポンジ等で擦り、画面上で色を混ぜ合わせるができます。クレヨンと形状は似ていますが、パステルの特徴を生かした表現を楽しんでみたいと思います。(定員30名)

② 保育環境の音を聴きなおしてみませんか? (1号館2階 音楽教室) …………… 講師 曾田裕司

子どもたちが過ごす保育環境には、子どもたちの歌う歌をはじめ、気付かれることなくさりげなく存在する音までさまざまな音が満ちています。子どもたちが保育環境で絶えず発し、そして聴いている多様な種類の音を、今一度総合的に捉えて、ご一緒に音を出したり聴いてみてはどうでしょう。

3 子どもの保健について

① 感染症をまん延させない取り組みについて話し合しましょう (2号館2階 視聴覚室) …………… 講師 重松由佳子

感染症の集団感染などのニュースをよく耳にします。感染症は、こどもにとって身近な病気である反面、重篤な合併症を起こしてしまう病気でもあります。園での予防対策は、こどもの感染を左右します。感染症予防に必要な知識について再確認し、実際の予防や思った時の対応について共有しましょう。

4 明日からの保育にむけて

② 新米保育者で語り合おう (2号館1階 第2講義室) …………… 講師 増淵千保美

いい保育がしたいと思いつつも、自分の思ったように保育が出来なかったり、子どもの心が見えなくなったり。希望をもって保育者になったはずなのに…。そんな時は、日々の実践の一場面を取り上げて、仲間と共に語り合ってみませんか。自分らしい保育が見えてくるかもしれません。この講座は、経験年数3年以内の保育者が対象です。

◎ 閉講式 〈15:45～16:00〉 短大学生ホール

◎ オフィスアワー 〈16:00～17:00〉 幼教教員各研究室

卒業生の方は久しぶりの母校で懐かしく思われることでしょう。教員は研究室で待機していますので遠慮せず尋ねてください。また、本校の卒業生以外の先生も大歓迎です。日頃の課題や保育に関する悩みなどありましたら、我々と語り合いませんか。

管理棟：佐澤、重松、柴田
短大1号館：曾田、森、緒方
短大2号館：市川、北口、青木、
竹下、小川内、増淵、片桐、坂本、横山
体育館：柿原

各教員の
研究室